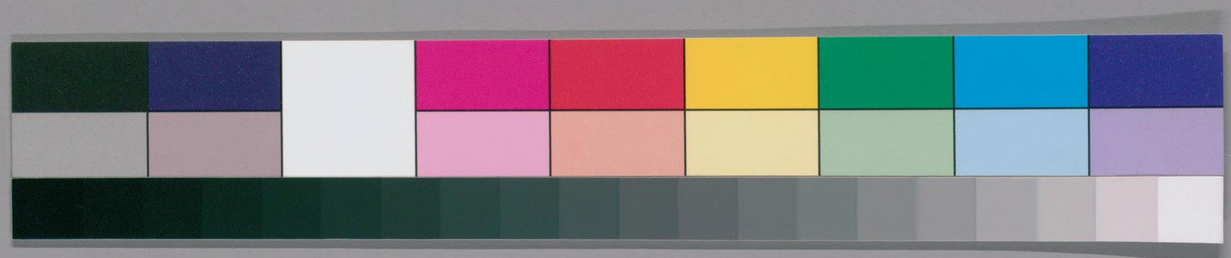
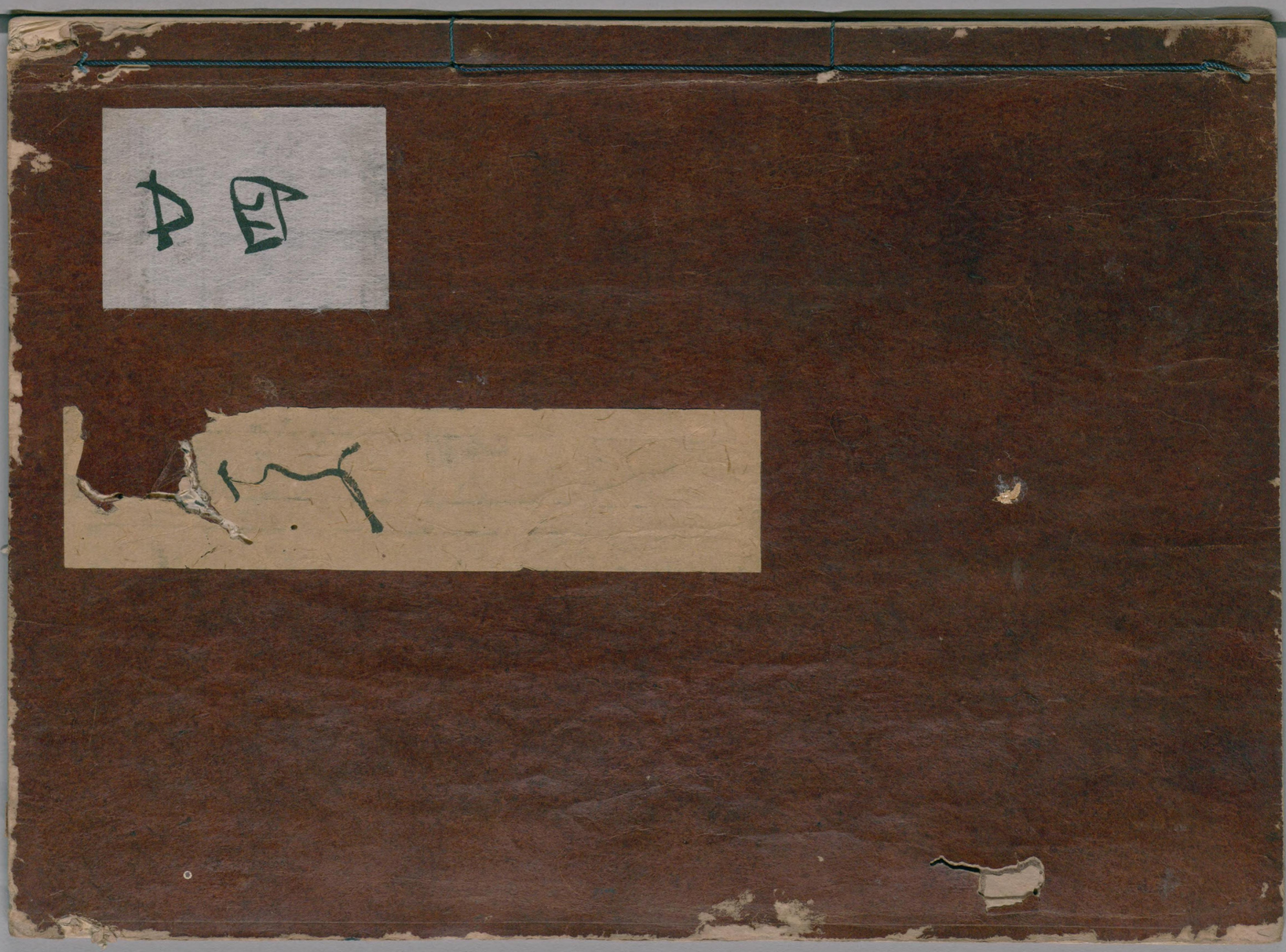




ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

210.28
国会図

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

ガラス使用

の君もいかぐ此花のおりの御覧をさきんとおぼし
の給へどついぞなくてかるらうまちひわたる花
をりくてあうひぬべきならねば月の夫女房たち
の物めでしぬべき紙の丹をのべて面の池ハあかたふ
とそしかよりしなさせのみをちいされ山を面ぐ
ての世界に見をたまどろ此山のされよりあ式ま
ひて来れつり殿にこなたの里の夫人にあけめさ
（真ナトヘ　宮三ノ芸上又源ノ女房元来元　月船也）
せのふ鶴鶏首とかゝのようひふことくしうし
つゝひそかゞとまさなかりをまらまへみかみづら
（唐子）
ゆひさりろあしさくせてさるおなきなら池のな
りふさしいぐたまぶ下ことれしらぬくまくきら

らんぬちしてあれまおりしろくしなしたぬ女
ぞうなとを思ふなり海の入口のいしの方にさし
よせて見まハちりなる気いしのさくぞまひもすぐ
絵まのいたしんやうなりこまくりなるすみわ
ひたる木すゑどもうしきをひ気わくを紙に片
面れ来るほうぐとみやられていろをましたる
柳枝をこれたる花をもいまぬ物ひをちらし
多りなりまをさうつますぐたるさくらといふ所の
まふりゝ忍ぶらうをめぐまろまぢの色もこまや
りふひらをゆさまなりまして池の多りの方を
うつしたる山ぶ気きしよりあなれくいしぐ気さ

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

きよふのなれをうつりかはりくさきはけりまつ
はまひとなとひとことにうつ弾て人のはむめ
ぐてはてのつまゝとはくさをのふ夜はいてぬれや
いかにかうなちしてはおのはちにりくつまにてとも
しそみりのきとのあさのうゑにあくへめして
かんからめ見さこちみなせめのく見き抱に笛物（琴）（笛）
やまとくまにものゝ師ともとりこきとれ
たるうたまそふてかなてうゐまたまちとる調子（笛ヨリテ琴ノ調子シトル）
とものさらへいとこれやうにつえみそてうれ
なりとあらびふなといあれのひうりとなふの
おやめをしらねさはのさとみうちのわたりまひは

なき馬くるまのさらとふかゝりまてたてまつれとき
さりうしの文も物のねもきこえしへのひゝきさ
いつこにかとりさるきはめ給人ておぼしつくらん
かし夜ともりあつひめしらふみにしはる花
春楽さらうひてをうへつなおとやえならさへしれ
ましろくうしひ給よあそびのはしくもおとしくそ
えもまふ夜もいのさけうけの音のゆくへつりを
中宮を物見くてくねうなきしよりさ給（けしき）
のひるまをあゆみて給へて殿なれとせをつくりよ
まうれまうなまえ殿の日まくになりそ人てもま（御子達）
けるにみしの多いのひあまりことをひれはまさ後

おとゞのきみをまぎことおぼしあがめやしのふ[illegible]
しきなとこれよりふさきこいぞくおなしくもしるく
あらわるびし浮ふ人おなかるつしまが方さぞ
うるとも思ひあがつまふ浮ふ気ものの人こちたりて
ほをほくはしき気ぞこゝ言こゝに出やし浮ふもまりま
ぞしきうらいぐぬ中の思ひまもしぬべきまり
きんさらなともあれへしろれうちまことれ心を
しらでうらのあないとれく中ねなとそまゝ咲ぬべ
うめり[illegible]の実ちることしぐろおもしあれきる
のかくもう努浮くこれみとをぞうつまひとつまぞこ
まてまひ浮へぞうけげつまて今をけしきぞ見ぬふ

けさをいとゝいくうろうこゝれしてぬちの花をう
ざしておよひさうどき浮へろ[illegible]さ海いやしおしお
とぐもおぐしさ海のなふとしるまをおぼをど
をめてしらずがなをほくつまぬふ浮ふりしけのけ
のぐてしいこゝうりてなやこゝのふて思ふあらろ
ゆらずまきのつまぎなましいやそへぐらしやと
をまひ浮ふ
兵
むらされの中へまゝをしめられそぬちに方な
あんなやそおしけ気とておとぐの君に[illegible]
かざしをまいつま浮いとゝうりし[illegible]
あらふ力我なをつへしやとこの[illegible]の[illegible]

ケサウニハヤリカナル心

ふるまて花どもとてまつる紛更の人をとつまほ所ぶ
てあ水ノリのまくまへさうを紛沸せうとこ殿の中ね久房の恵
しくきこえ給へつま
花それにこてふをあへや下まう秋まつ恵を
うゆくみうらん宮中ヲシサメの御家の店ノ色りなりけり
やりし中云ノ恵をて沸らんを所ゐの女房さらもげふ恵
の笑をえ花しさを給まゞうるをけりと花ガシオルト世俗ニ云ヘ花はれつ
けましあへつま鶯のうらくゆるゆまとうまのうく
これやうにきくわくされていけの名雪もうこを
りとなくあ色つりまるうまきうになりもつ家程
あうにはもしろしして姫ハまして大うなれさ海

にとびちちてやうふ天のませのをとまされあが
きさうられの方ゆまひいけ家ハ糸イすけをもぐ
めてさうぐまう色人どもろくとうまほぐきくまうハ
色まさふとうまはまさくうのほそなぐてふまそ山
ふ天がさ〇紛けるつ〇てしもやうまあへうやう
なり。飛此師どもハしろ天ひとうさ〇こしぶし腰土絹腰ニサス ユハ名ニヤ
なとつ天くまゆふ中ねの恵久房まそ毒らのほうなぐ
うへて女のさうぞくかづけ給ふ沸ン色りきのふ
もねまなれぬぐくようは
こてふまもあうこれまましむのまくやへ山姫
きの色とくさるませもとぞありけるを双比ぐれうる沸

上臈
らうどもにかやうのましハ不堪(フカン)へぬまやあり世ん
思ふ所にしたがひ所ならぬ所ならぬ所とも所をかめまゐ
ことやうのみものゝ女房ならぬ所のまゐこれにし
きたれをくらうのせさせ愛給ひ給ひやうのまし
くたれけまをむつし内蓋よほきてきのやうの
ちうな気ほ(三)あうひしげ(ミ)をやまてすぐ給へを
所ふし姫人もをのつゝ相思ひなれんちしてまん
こなたのまゝまとやましかしのふましの多いの
所(玉)をさうのたうのおほ(ミ)の所多いめしの娘を
あかこまときこしかりし給ふ少の気所(玉)むりらい
やあさくもいうもあらんけしきいとらう(分別アルトシ)ありか

つりしきむぞへとみして人のん色ぞつ色くも相
し行まぬ人(玉)のさ海なれハいけ(ぐ)くまと皆むよせ
やまし給へ望やまし給人いとあまくりのしのふされ
ぜたとぐおぼろ市におぼしさぐしべくもあらず
まぐ所(三)むまとまくようにおやぐまりつまし所(玉)
むやうふらしちくおぐまとしせやしてまし
なとおほしよりおりくありとおくかねをすとし
まちりくみまのをとなとまもりて所いら色み
のうなとすらも女をほくまりうおぼをどさる
へ気かとくんをもしまきこそ所をかねハまく
ずくしくて思ひもよりひ内のおぼ(双中)いとのくまぐ

ちさおの君よひのねくらかはしきおほとのこひ
ありくとうれしきの事ともうてしるかなむくる
しうたれひかへことも聞えしけるをなしう宮たこ
よのはやまひとしられきこえけりことつきなと人し
れそりよのかのへ事さやうのこともらしきこえ
ほのすひと色まうらとまたのことをし給ひひきか
ところはまいりやうなりけるとそなけれともれ
もくものけるひとのやよくおほえて大臣のみや
比丘えいて殿そくひとろもくの今めしう
かりたまふろほひ出の御し気なとはくへかや
しうろこたりとなくおほしたいかやうつゝおもし

ませさうのはめうひまくすくしのふよる
入はらくまんとの御文ともけくなりはてしほひ
志事とかのしうかしたまひとすれハまうり御ひ
はくれらしかきへきこえ源の色かうくやかし
やすしなりひなとこうとしけすくるしいとふ
おひおほにたまたてのこれをなくいられうもし
さまざまひあやしもそのむつめ御へかれかれみこ
御消息し侍あてこゝやうふしらひ給ふたやうよ
つゝ色て侍りわりあまりこのみこゝの御中
にあのもとすゑてみなともみて思ひしまた
多のやまちのことすゑりけり色かくて思ふ

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

のたれをまさぐるに
さら花のかかりし袖にしよろふまはかれる
力ともおもほえねりかよ（常住）とくこのありつりう
けて目すれうくきりなくさむうくなくて世気
つかとしよろをうくさみさくまつるハ夏はやと
のこおもひなきをこそこそ志のぶまじけまおほし
うとむかよとて此て紙とうへ給へまえ女のやう
まえならひ給へさるもつ新をいやうくて新かゆまと
とおかとりかれさ海まそこのし給ふ
袖の雨をよそふるうにさらをなのみ所へを
かなくなりをこうすれむつしとおりひをよつ

ふし給へさ海いこじうなつしうて御気の御ぶ
川ふとこ色のへれみなりまえ御気のこまやかに
よつくしけなるかなくするこの思ひろふむち
志給ふてけふハをこし思ふまし安えしらを新ひ
ゆる女をむうくのうきしきんとれほえて目すくう
新くけしきもしるけまをかすくかうとまし
とをおかいくれいとよくりそのくして人まどが
先らう色くもあらぬむのおやろよさるも所なくて
をとてうくし給へおさくも思ひきこえさうをぬむ
ぶしにまゝそふ色けまをかふくひあかまし気
むちすんすらをあのをとつれ中国かへくまれ

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

乃はおやときあ田ともあらはよりつるとおほしよら
ぬもしかはりてなしやもし法もしなと無アなと
を思ひて安ゆるに所なていとくおもはしにむ所気
なれ御山のあるさ海とうとましうおひまて法ふ
まとかうしうるまあれまくのあしこ所ふとゆく
ありなやましりまくふし法へど人と所すぐ望な
やさいまて所へりとくと安ゆきをしぶしまみ
給しあれ君をうまへをおひらるまくし
きふいやをめてこうのいかへ望さくひなるまし所
けし気ようほうきしをますれがうりのすし人み
なりきん

源

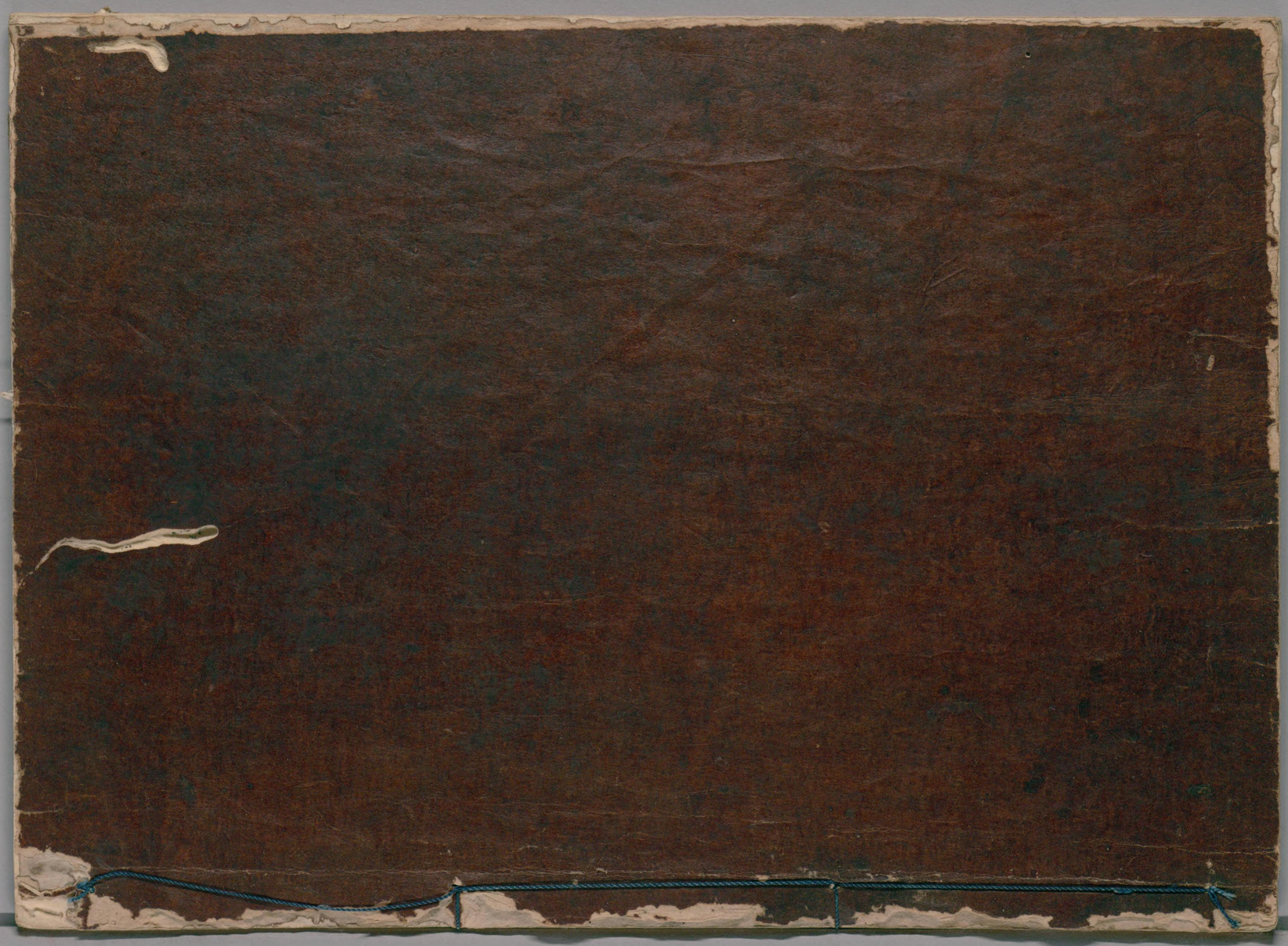
うらとあてねもしぬ物をとりの菓のもしまうな
ふむをおくならんおさなくこう掬し行ひけきや
あをうふおやがるをこうあことをもいやすくし
やしあて所の色りあやさきこしぶらしを人のあや
しけきぬくようなるみちおくれあそうさく
うけ行けるぬみぐるしちのあしう御きをきこそ
さきぬとのこめれまりやうのけし気をさきのま
をくようなりとおくしてうしあれ所ありしむちし
法ふもうこてなれ法ふ法ノ所ふ色よいぐ法ひてれちを
大田おなしくの松れやおもをせこるもしなくむつし
くやしのふことおなのきいとくろせ気むちし

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館

国立国会図書館　　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

ガラス使用



ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号